

広陵中だより



学校の教育目標
～ひびき合い 高め合う生徒～

発行所; 可児市立広陵中学校
第7号 発行日; 令和7年9月30日

「人権と命を大切にする学校」「明日も来たくなる学校」「笑顔溢れる学校」

校長 桂川 辰也

「安心感」は管理ではなく信頼から生まれる

広陵中学校の校長として半年が経ちましたが、ありがたいことに、4月に感じたワクワク感は今も続いています。もちろん、315人の生徒がいるわけですから、心配事がまったくないわけではありませぬ。夜遅くまで生徒のことで職員と打ち合わせをしたり、保護者の相談を受けたりする日もありました。それでも、広陵中学校に通う毎日とはとても楽しいです。

その一番の理由は、広陵中に来ると「**笑顔**」をたくさん見ることができるからです。さらに、生徒たちからは、優しさや温かさが伝わってくる言葉をたくさんかけてもらえます。

改まった言葉ではなく、日常の何気ない会話の中に、優しさや温かさが満ちていて、それだけで私は「**安心感**」をもらっている気がしています。



修学旅行中にも、何人かの生徒と話をしました。「校長先生、USJで〇〇一緒に乗りませんか?」「広島は何回目ですか?」「新幹線に初めて乗ったのはいつですか?」そんな他愛もない会話ですが、心がとても穏やかになります。

大人に対して、これほど親しみを込めて接する生徒が多いのは、広陵中の生徒の大きな特長です。これは、家族や地域の方々からたっぷりの愛情を受けて育ててきたことの証です。幼い頃から大人に対して信頼感や安心感をもって接

してきたからこそ、私たち学校職員にもすぐに打ち解け、親近感や信頼感を抱いてくれているのだと思います。そして、その信頼を築いてくれた大人の皆さんが、私たち学校職員のことにも信じてくださっているからこそ、今の生徒たちの姿があるのだと感じています。

世間では、教師による盗撮事件などが報じられ、本当に腹立たしい気持ちでいっぱいです。防犯カメラの設置やスマートフォンの持ち込み禁止といった対策によって、生徒や保護者の安心感を守ろうとする学校や自治体の話も聞きます。しかし、そうした方法を取らなければ「**安心感**」を与えられない学校には、絶対になりたくありません。

明日から10月に入ります。

私たち職員も、あらためて襟を正し、生徒たちの「**笑顔**」と「**安心感**」のために、これからも努力していきたいと思ひます。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。